

小学校第6学年

国語 A

注意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 調査問題には、国語と算数の問題があります。国語の問題は、1ページから11ページまであります。算数の問題は、反対側の表紙から始まり、1ページから11ページまであります。
- 3 解答用紙には、国語の解答らんの面と算数の解答らんの面があります。解答は、すべて解答用紙に書きましょう。
- 4 解答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、こく、はっきりと書きましょう。また、消すときは消しゴムできれいに消しましょう。
- 5 解答時間は、次のとおりです。
 - ・国語 A 20分間
 - ・算数 A 20分間※それぞれの時間になったら、合図があります。
- ※国語の問題を解き終わっても、算数の問題に進んではいけません。
- ※解答が早く終わったら、よく見直しましょう。
- 6 机つくえの上の「個人番号票【解答用紙記入用】」をよく見て、解答用紙に、学校名、組、出席番号、男女、個人番号をまちがいのないように書きましょう。

— 次の(1)から(3)までの文の — 部の漢字の読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

(1) 新しいビルを 建築 する。

(2) 親から 独立 してくらす。

(3) 参加することを 許す。

二 次の(1)から(3)までの文の――部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

(1) 病院で いしや にみてもらう。

(2) 東から たいよう がのぼる。

(3) 白い ぬのを青くそめる。

中村さんは、次の【高木さんの発表のはじめの部分】を聞きながら、質問をしたい内容をカードに書いています。カードの内容は、どのようなねらいをもっていますか。その説明として最もふさわしいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【高木さんの発表のはじめの部分】

みなさん、野生動物とはどのような動物か知っていますか。

野生動物とは、山や野原などの自然の中でくらしている動物たちのことです。その種類を正確につかむことは難^{むずか}しく、五百万とも五千万ともいわれています。その野生動物の一部が世界各地で絶めつの危機^{きき}に直面しているということをニュースで知りました。

そこで、わたしは、どのような原因で絶めつが進んでいるのか疑問^{ぎもん}をもち、調べてみることにしました。

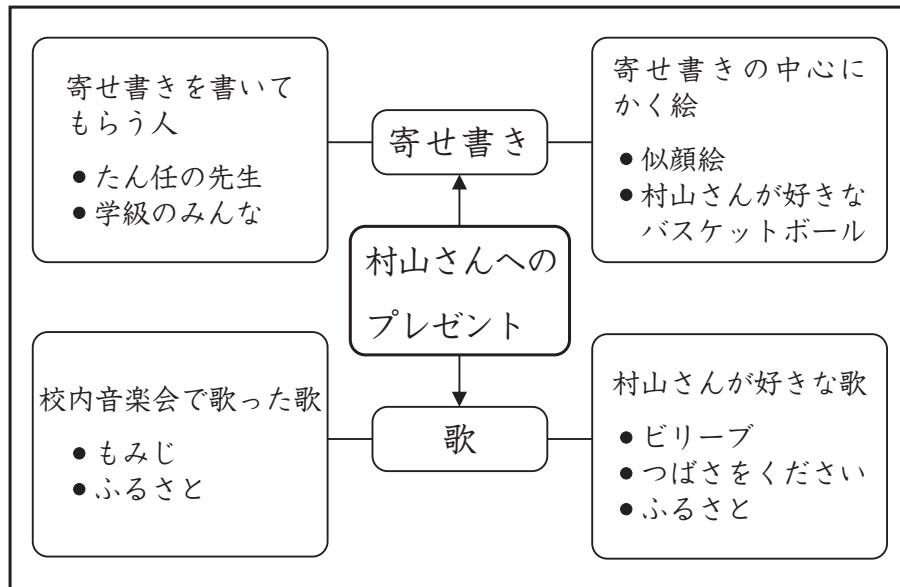
（発表が続く）

【中村さんが書いたカード】

野生動物の一部が世界各地で絶めつの危機に直面しているということだが、それらの動物の名前をいくつか教えてほしい。

- 1 調べるために役に立った資料は、どのようなものかを知ろうとしている。
- 2 最も伝えたかったことは、どのようなことを確かめようとしている。
- 3 発表の内容について、どのような具体例があるのかを知ろうとしている。
- 4 調べたきっかけは、どのようなことだったのかを確かめようとしている。

【グループで出された内容を整理した図】



【グループとしての提案を決めている様子】

今田 それでは、グループとしての提案を決めることにします。転校する村山さんへのプレゼントは、寄せ書きと歌の二つでいいですか。

全員 はい。

今田 寄せ書きを書いてもらう人は、たん任の先生と **ア** です。寄せ書きの中心にかく絵は、似顔絵と村山さんが好きなバスケットボールにします。歌は、校内音楽会で歌った歌で、村山さんが好きな歌でもある、**イ** を学級のみんなで歌うことにしたらどうでしょうか。

全員 はい。いいと思います。

今田 では、これらをグループの提案とします。

ア

・

イ

の中に入るふさわしい言葉を、図の中からそれぞれぬき出しましょう。

今田さんの学級では、転校する村山さんへのプレゼントを何にするか、グループごとに提案し合うことにしました。今田さんのグループでは、出された内容を次の図のように整理しながら話し合いました。そして、グループとしての提案を決めることにしました。

小森さんの学級では、一人一人がお気に入りの話を選んで、音読の発表会をすることにしました。小森さんは、次の「ないしょ」という笑い話を選び、音読の仕方を考えています。話の中の①から④までのそれぞれの会話は、どのような声の大きさと読むとよいですか。

【音読の仕方】の中のアかイのどちらかを選んで、その記号をそれぞれ書きましょう。

【小森さんが選んだ話】

ないしょ

天気の良い日、お百姓が畑でなにやら播いておりました。ちょうど通りかかったとなり村の五助どん①「いい天気だね、ときになにを播いているだね。」と話しかけますと、お百姓は、あわてて五助どんのそばによると、

②「しーっ、声が高い。」と言います。

さては人に言われぬ世にも珍しい物の種子でも播いているのだろうと小さな声で

③「それで、なにを播いている。」

と聞くと、お百姓、ざるの中をそおつと見せて

④「それがな、大豆なのじゃ。鳩にきかれてはまずい。」

(さとうわきこ『小さなわらいばなし 4』による。)

【音読の仕方】

ア はなれた場所から話しかけるように、大きめの声で読む。
イ ほかのだれかに聞かれないように、小さな声で読む。

①の会話文：

②の会話文：

③の会話文：

④の会話文：

※解答は、解答用紙に書きましょう。

【百科事典の記述の一部】

サクラ【桜】

日本のサクラは、美しく、たくさんの種類がある。

～（中略）～

サクラは、古くから日本の人々に親しまれている。花見は、サクラの花を見て楽しみ、春の訪れを感じる行事として広く行われている。また、サクラは、短歌や俳句などの題材として取り上げられている。

サクラは、日常の生活の中でも使われている。塩づけにしたサクラの葉でもちをくるんだものは、桜もちと呼ばれる。桜湯とは、塩づけにしたサクラの花を湯に入れたもので、お祝いのときなどに飲まれている。サクラの樹皮は、皿や茶づつなどの工芸品として使われている。

～（内容が続く）～



▲サクラ
（ソメイヨシノ）

ア

イ

野村さんは、サクラについて興味をもち、百科事典で調べて分かったことをノートにまとめました。

からそれぞれぬき出しましょう。

の 中 に 入 る ふ さ わ し い 言 葉 を、【百科事典の記述の一部】の中

【ノートの一部】

サクラ＜桜＞

- 花見…サクラの花を見て楽しみ、春の訪れを感じる行事
- 短歌や俳句…サクラを題材として取り上げている

親
し
ま
れ
方

- 桜もち…塩づけにしたサクラの葉で
もちをくるんだもの
- ア…塩づけにしたサクラの花を
湯に入れたもの

食 品

使
わ
れ
方

- 樹皮を使って作られた皿や茶づつなど

イ

～（内容が続く）～

青木さんの学級では、一人一人が物語を書いて、発表し合うことにしました。青木さんは、次のように下書きをしたあと、書き直しをしました。そして、書き直しをしたところをグループの人たちに説明しています。【グループでの青木さんの説明】の の中に入る言葉として最もふさわしいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【下書きをした物語の一部】

転校生がやって来る日の朝、教室の中は落ち着かなかった。

ガラガラという教室のドアが開く音がした。そこに学級全員の注目が集まった。先生に続いて、男の子が入ってきた。

「今日からみんなといっしょに勉強することになった上田勇二さんです。」

先生のしょうかいを全員が耳をすまして聞いている。その中に首をかしげている女の子がいた。

～（物語が続く）～

【下書きの書き直しをした物語の一部】

転校生がやって来る日の朝、広子は落ち着かなかった。

ガラガラという教室のドアが開く音がした。広子は、身を乗り出して入り口をじっと見た。先生に続いて、男の子が入ってきた。

「今日からみんなといっしょに勉強することになった上田勇二さんです。」

先生のしょうかいを聞きながら広子は、首をかしげた。初めて会ったはずの勇二とどこかで会ったことがあるような気がした。

～（物語が続く）～

【グループでの青木さんの説明】

下書きは、教室の全体の様子をながめながら、そこで起きている事実を中心に書きました。でも、その時の人物の様子がくわしく伝わらないのではないかと考えました。

そこで、の立場に寄りそって、細かな動きやその時に感じたことが具体的に分かるように書き直しました。

1 学級全員

2 先生

3 勇二

4 広子

第三小学校の新聞委員の内山さんは、学校の合唱部が活やくしていることを学校新聞の記事に書くことにしました。【学校新聞の記事の一部】の の中に、【取材した内容の一部】の①から④までを一文にまとめて書きます。書き出しの言葉に続く内容を、二十字以上、三十字以内で書きましょう。

（書き出しの言葉は、字数にはふくみません。）

【取材した内容の一部】

- ① 合唱コンクールの県大会が、七月一日に開かれた。
- ② そのコンクールに、第三小の合唱部が出場した。
- ③ 第三小の合唱部は、そのコンクールで金賞に選ばれた。
- ④ 第三小の合唱部は、来月開かれる全国大会に出場することになった。

（メモが続く）

【学校新聞の記事の一部】

第三小☆学校新聞 平成24年7月号

第三小の歌声 全国へ

県大会で金賞

七月一日、合唱コンクールの県大会に出場した本校合唱部が、

（記事が続く）

吉田さんの学級では、「慣用句」について学習しました。「慣用句」とは、二つ以上の言葉が組み合わさって、ひとまとまりの意味を表す言葉です。吉田さんは、「話」という言葉を用いた慣用句の意味と、その使い方をカードに書いています。

として最もふさわしいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【吉田さんが書いたカード】

〔話が合う〕

◆意味…話題などが合い、打ち解けて話すことができる。

◆使い方…親友とは好みが同じで、話が合う。

〔話はずむ〕

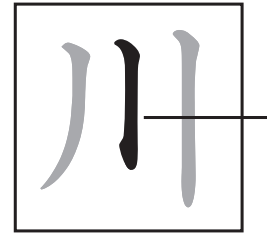
◆意味…

◆使い方…友達と久しぶりに会い、話はずむ。

- 1 相手が内容を理解し、短い時間で結論^{けつろん}が出る。
- 2 話のやりとりが、次から次へと調子よく続く。
- 3 物事の事情やすじ道、理由について理解がある。
- 4 話し合いや相談がまとまって、物事が解決する。

北村さんは、漢字を書くとき、筆順に従^{したが}って正しく書くようにしています。例のように、「申」と「赤」の黒くなぞった点画が何画目になるかをそれぞれ書きましょう。

(例)



「川」の黒くなぞった「」の部分：



画目

一



「申」の黒くなぞった「」の部分：



画目

二



「赤」の黒くなぞった「」の部分：



画目

これで、国語Aの問題は終わりです。

注 意

合図があるまで、次のページを開かないでください。

